

糸鋸・旋盤の操作を学ぶ木工実習

いなべ市立大安中学校



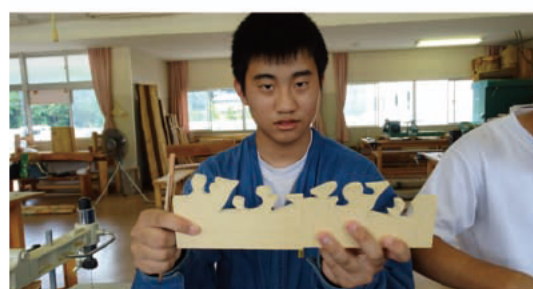
ねらい

- ・木の持つ特性や樹種ごとの違いを理解する。
- ・木工機械の操作を学ぶ。
- ・木工機械の危険性について理解する。
- ・木工機械を使って、顧問の指導のもと、自ら工作ができるようになる。

大安中学校テクニカルボランティア部では、普段から間伐材や土木工事から出る丸太を材料に、チェンソーを使ってベンチなどを作り、その売上を発展途上国へ寄付しています。この授業では、より技術を高めてもらうことを目標に、講師から木の種類や特徴についてのお話と、これまであまり使っていなかった糸鋸や旋盤の扱い方について実習を行いました。

糸鋸実習では手を「ハ」の字に広げ材料を押さえ、刃の近くを押さえることで材料のバタつきを抑えることなど、基本的な扱い方ができるようになるまで繰り返し切る練習をしました。また、旋盤の実習では木の玉を作ることを目標に、バイト（材料を削るときに使う工具）の持ち方や削り方の順序について学びました。

高速で動く機械に最初は少し驚きながらも、繰り返し取り組むことでコツをつかみ、最後には自分の好きな形に自由に切るなど、工作の幅を広げることができました。



プログラム概要

内容	・木の特性についてのお話 ・糸鋸・旋盤を使った実習
時間	4時間
場所	テクニカルボランティア部 部室
対象	部員(1～3年生)7人
講師	森のせんせい：菊岡哲氏
備考	「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業